



命を尊ぶ、思いやりのある

ココロを育むために

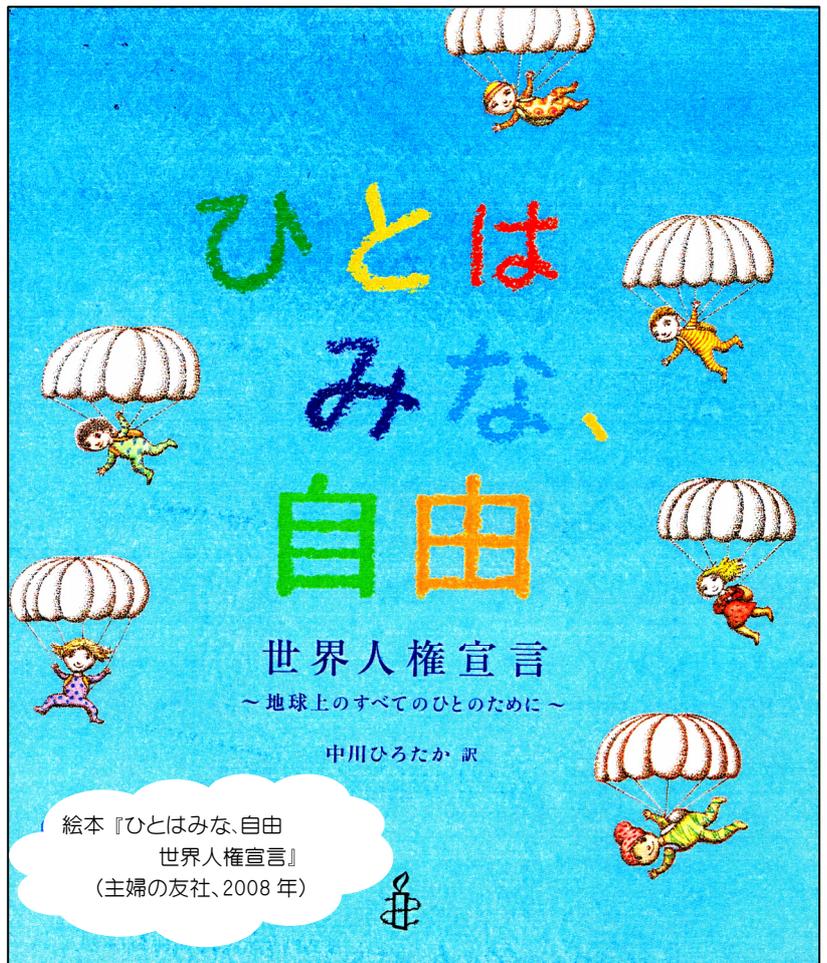
2012年1月 vol.34

〒160-0015 東京都新宿区大京町 22-1 HAKUYOHビル 6階 TEL & FAX 03-5363-4808
Eメール holocaust@tokyo.email.ne.jp ホームページ www.ne.jp/asahi/holocaust/tokyo

NPO 法人ホロコースト教育資料センター **Kokoro** ニュースレター

目次

- P2 … 代表あいさつ
表紙の写真から「世界人権宣言」
- P4 … 読んでみませんか 新刊4冊
- P3 … 文化祭でパネル展 東京女学館
「アンネ・フランクと希望のバラ」
- P5 … 児童書『ハンナのかばん』、出版10周年
イベント案内
- P6 … ハンナ兄の体験 銀座中学校での実践
- P7 … 貸出パネル紹介
「生きのびた少年ジョージの物語」
- P8 … センターからのお知らせ

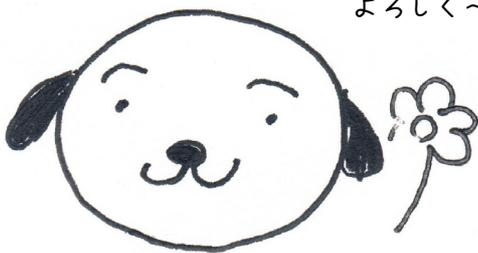


センターに

ココロ

愛称 **Kokoro** がつきました

よろしく～



新スタッフのココロも登場！

世界人権宣言

～地球上のすべてのひとのために～

中川ひろたか 訳

絵本『ひとはみな、自由
世界人権宣言』
(主婦の友社、2008年)

世界人権宣言っておもしろい！

みんなが自分らしく、楽しく生きられるための全30条。

ホロコーストから学べること

- ◇ 一人の命の尊さを考える
- ◇ 差別を生み出した人の心の弱さを学ぶ
- ◇ 他者の気持ちを想像し、思いやる心を育てる
- ◇ 多様な文化、民族、宗教を知り、受け入れる
- ◇ 平和をつくりだすために自分にできることを考える

当センターの目指す
【命と人権】の教育

* ホロコーストとは？

- 差別の歴史 -

第二次世界大戦の陰で起きたユダヤ人迫害・虐殺のこと。600万の犠牲者のうち、150万人は子どもでした。他に反体制者、ロマ(ジプシー)、障害者、同性愛者も殺されました。国連は1月27日を「ホロコーストの日」とし、この歴史を教育の場でとり上げようと世界に呼びかけています。



ごあいさつ

新春のお慶びを申し上げます。

昨年も全国の皆さまからあたたかい励ましや募金、ボランティアやロコミ協力など多くのご支援をいただきました。心より御礼を申し上げます。

今年は、より多くの方に当センターの活動に親しみをもっていただけたらと願い、^{ココロ}Kokoroという愛称をつくりました。

この名前には、センターが目指している教育「命を尊ぶ、思いやりのある^{ココロ}を子どもたちに育ててほしい」という思いを込めました。これからは、センターのことを「ココロ」って呼んでくださいね。(最初のコにアクセント!)

そして、新しい犬のキャラクター・ココロも登場! 「ホロコーストから学べることは、私たちの身近な生活・自分につながっているんだよ」ということを、ココロと一緒に皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。

さて、2004年からスタートした訪問授業も、もうすぐ750校到達! 今年も子どもたちと学ぶ場をたくさん広げていきたいと思ひています。1月は米国アラバマ州やスコットランドに出かけてきます。皆さまにとって、新年がよき年となりますように。



NPO 法人ホロコースト教育資料センター代表 石岡 史子



センターに
愛称 Kokoro が
つきました!



新スタッフのココロも
よろしくね

表紙の写真から

世界人権宣言っておもしろい!



ココロ

ひとはみな、自由です。自由に考え、自由に感じていい。

ひとはみな、それぞれちがうけど、みんな自由だということ、

そして平等だということ、これが基本です。(世界人権宣言シンプルバージョン1、2条。表紙の絵本から)

人権って、人が人らしく
生きられる権利だよ。

第二次世界大戦とホロコーストの命の犠牲があまりに大きかったことを反省し、1948年に人類史上初めて、個人の生活と心を守るための国際的なルール(30条)がつくられました。世界人権宣言を読むと、みんな、一人ひとりが大事な人で、可能性を伸ばしていいんだよと、自分を肯定できるようになり、また他者のことも認めることができるようになるんじゃないかと思ひます。

人が生きるのに必要なものって? 子どもたちとクイズで考えてみても楽しい!

人が幸せに健康に生きるための、基本的なニーズは何? それを考えることが、人権の構成要素を知る出発点。安心して暮らせる家、食べ物、病院に行けること、お金、教育、音楽や美術やスポーツの楽しみ、自由に考えて表現できること、移動できること、傷つけられないこと、差別されないこと、休みがあること、秘密が守られること、公平な法に助けを求められること、大人になったら仕事を持てること、政治参加できること、困ったときに支援があることなど…。これらを持つ権利が世界人権宣言には明記されています。今まで当たり前だと思ひていたものもたくさんありますね。

みんな「価値において」平等! 世の中、平等じゃないよ、と子どもたちから言われたら…

人権の中でいう平等とは、経済的な平等や、容姿など見かけについての平等ではありません。すべての人が「価値において」平等だということ。みんな「人」であるということは共通している。人間性、人格、尊厳を持った人間という意味において本質的に差はない、ということなんですね!(西山)

読んでみませんか

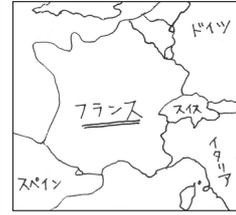
～フランス編～

ナチス占領下のフランスでは、ナチスに抵抗し、ユダヤ人を助けた人々がいた一方で、国内のユダヤ人をアウシュビッツへ積極的に送りこんだフランス警察の協力もありました。1995年、当時のシラク大統領は、ヴィシー政権下でフランスがユダヤ人迫害に加担したことを認め、「歴史の暗い時代を包み隠さないこと、それは、人間および人間の自由と尊厳を守ること」と演説をしました。

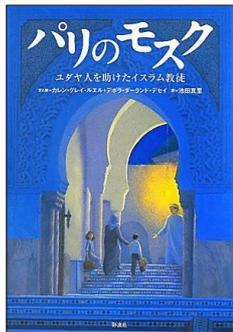


くわしい歴史メモ

1940年当時、フランスのユダヤ人口は約35万人。半数は、ナチスを逃れてきた難民。41～44年の間に、7万人を超えるユダヤ人がパリ郊外のドランシー収容所経由でアウシュビッツなどへ送られた。



この中には11,400人の子どももいた。生還者はわずか2,500人。



実話・絵本・中学生以上、大人まで

『パリのモスク - ユダヤ人を助けたイスラム教徒』

カレン・グレイ・ルエル、デボラ・ダーランド・デセイ 文と絵、池田真里訳（彩流社、2010）

パリにあるイスラム教の礼拝堂(1926年完成)では、ナチスに追われるユダヤ人の子どもたちをかかまっていた。彼らをパリから脱出させるため、多くのイスラム教徒が力をつくしました。本書によると、当時フランスに移民していたイスラム教徒は、ほとんどが北アフリカ出身。同地では、ユダヤ教とイスラム教が、長年にわたり共存していた歴史があります。どちらの宗教にも同じ教えがあるそうです。それは、「一人の人間の命を救うならば、それは全人類を救ったのと同じ」というもの。民族の背景を超えて、自分が出会った人を大事にし、助けることができた人たちがいたことに深く感じ入ります。(西山)



小説

『サラの鍵』

タチアナ・ド・ロネ著、高見浩訳（新潮社、2010）

1942年夏、ナチス占領下のパリで起きたユダヤ人一斉検挙。両親とともに収容所へ送られた10歳の少女サラは、弟を救い出すために決死の脱出をします。一方、現代のパリでサラの運命をたどるジャーナリストのジュリア。二人の運命が交互に描かれています。少女サラの悲しみ、真実に向き合うジュリアの苦悩が胸に迫ります。史実に基づいた小説。昨年12月、日本でも映画が公開されました。(石岡)



実話・小学5年生以上、大人まで

『エーディト、ここなら安全よ』

キャシー・ケイサー著、石岡史子訳（ポプラ社、2007）

ユダヤ人の子どもたちを守ったフランスの村モアサックを舞台にした物語。オーストリア生まれの少女エーディトは家族と引き離され、フランス南部の村の寄宿学校にかくまわれます。ナチスによるユダヤ人逮捕の危険が迫るたびに、村人たちはその情報を寄宿舎に届け、子どもたちはキャンプに出かけるふりをして山に隠れます。モアサックの村人たちの勇気によって、エーディトや500人を超える子どもたちの命が助けられました。(石岡)

* もっと詳しく知りたい方に… 『ホロコーストのフランス』 渡辺和行著（人文書院、1998）

『ナチ占領下のフランス-沈黙・抵抗・協力』 渡辺和行著（講談社、1994）

『ナチ占領下のパリ』 長谷川公昭著（草思社、1986）

「アンネ・フランクと希望のバラ」

アンネのバラを育てて12年になる東京女学館で昨秋、当センターの貸出パネル「アンネ・フランクと希望のバラ」が展示されました。これは、アンネと同じ年に生まれて広島で被爆をした日本人少女まちよの目を通して、アンネの歴史を紹介するパネルです。

東京女学館は、まちよこと黒川万千代さん(当センター元理事、2011年2月ご逝去)の母校。1999年に黒川さんから受け継いだアンネのバラがとてもきれいに咲いています。アンネのバラ委員会の中高生たちが大切に育てて、接ぎ木の講習会も開いています。文化祭では、ヴィクトール・フランクルの『夜と霧』からの引用と生徒の言葉をまとめて、苦しみを乗り越えることや生きる意味を問いかけるコーナーもあり、素晴らしい内容でした。(石岡)

⇒ このパネル 好評貸出中です!

「アンネ・フランクと希望のバラ」

世界遺産となった日記を書き残した少女アンネ・フランクの足跡とその時代を分かりやすくたどり、命と人権について学ぶパネルです。



「平和はバラを育てるように
大事に育てていくものだよ」って
メッセージを伝えるパネルなのだ

アンネのバラ委員として活動
できることに喜びを感じ、少しも辱
の他に黒川さんの、そして私達の
平和への思いを伝えたいと思いはた
今回展示を見に来た前、前には
思いが届いていない、と思いき
今から、黒川さんの思いを引き
継ぎ、委員会の活動を続けて
いきたいです。 近浪(高2)

黒川さんの活動を多くの人に
知っていただくことが、黒川さん
のホロコーストや平和に対する思いを
知っていただくように思っています。
接ぎ木の会や様々な活動を通じて
今後黒川さんの思いを伝え、
平和について考える活動に
していきたいと思っています。
滝沢(高2)

見るだけで心が癒え
れるアンネのバラを持つまで
くださった私達の大先輩である
黒川万千代さんについて今回の展
示発表によってたくさんの方々に知
っていただけたと思います。これから
接ぎ木の会などを通して、より多くの方
に平和について考えていただける
ような活動をこれから行
いたいと思います。
北尾(高2)

ホロコーストが
行われている時のアンネの
生活や収容所などが、
分かりやすく書いてあって
理解がより深まりました。
アンネのバラを大切に育てていくと
共に、アンネやホロコーストに
ついてお話をたくさんの人に
知ってもらえるように活動
していきたいと思っています。
栗山(中3)



アンネのバラ委員会の生徒さんたち

記念祭で展示し今まで知ら
なかったアンネのこと、また大先輩で
ある黒川さんについて詳しく知ることが
できました。展示を見て下さった人達も
平和への思いなどを話して下さり
展示をしてとても良かったと思いました
相田(中3)

展示パネルを見て、私たちの
大先輩であり、学校にアンネのバラを
届けてくださった黒川万千代さんが、
どんなに素晴らしい方かということが
改めて分かり、知識も増えました。
とても分かりやすい資料を貸して
いただき、ありがとうございます。
前川(中2)

黒川さんのことが良く
わかりました。お客さんが
たくさんいらして、読んで
下さるととてもうれしか
です。 乾(中2)

アンネのバラを私たち
の学校に届けてくださ
った黒川さんのことがよく
わかりました。これから
アンネのバラを大切に育
てていきたいです。すてきな
展示パネルを貸してく
ださってありがとうございます。
岸野(中2)

悲しいけど、あったかい。心に響く命の物語。

児童書『ハンナのかばん』

読んでみませんか



かばんに書かれた文字

ハンナ・ブレイディ 1931年5月16日生まれ 孤児

ハンナのかばん

って何?



ココロ

アウシュビッツ収容所で亡くなった子どもの遺品として、2000年、東京に届いたかばん。「ハンナ・ブレイディ」と名前が書いてあった。いったいどんな子だったんだろう？

調べてみると、ハンナのお兄さんがホロコーストを生きのびて、カナダに暮らしていることがわかった！手紙を送ってみると、兄ジョージさんは、日本の子どもたちのために、ハンナの写真を送ってくれた。チェコ生まれのとってもかわいい女の子だった。今でもハンナを守ってやれなかったことが一番の悲しみなんだそうだ…。「ハンナのを知りたい!」という子どもたちに会いに、ジョージさんは日本に来てくれた。

お兄さんは涙を浮かべながら語ってくれた。夢と希望をもって精一杯生きたハンナのこと、収容所で兄妹が支えあっていた日々、ジョージさん自らは16才でアウシュビッツを生きぬいたこと、そして今、世界の子どもたちに願うことを。

「ハンナのかばん」は、差別が生んだ悲しみの歴史を希望のメッセージにかえて、私たちに届けてくれています

* NPO 法人ホロコースト教育資料センターが、ポーランドのアウシュビッツ収容所博物館から借りた展示品の「かばん」から生まれた実話です。



出版 10 周年を迎えました

『ハンナのかばん』

カレン・レビン著、石岡史子訳
(ポプラ社)

カナダで出版されてから話題を呼び、50 カ国で出版。子どもから大人まで、世界中で読まれています。

☆小学高学年課題図書(2003)

☆最優秀児童文学賞(カナダ)

☆ユニセフ賞(イタリア)

ハンナのかばんを知るいろいろ

詳しくは HP をご覧ください↓

www.ne.jp/asahi/holocaust/tokyo

★出張お話し会 毎年 100 ヶ所で実施
命の授業、道徳、人権学習などで全国学校を訪問中。PTA 家庭教育学級や自治体の人権研修会でもお話ししています。90~100分。

★写真パネル 貸し出しています
学校の教室や図書館、市役所などで展示していただいています。大、中、小セットあり。

★スタディガイド(500円) 発売中
歴史解説、子どもたちの質問に答えるQ&A、様々な学習法、道徳の指導案など。

★コミック版 (ポプラ社、2007)

小学校 4 年生から読めます。写真も満載！

★英語の教科書に掲載されています
COSMOS READING(三友社) 高校
BIG DIPPER(数研出版) 高校
Birdland Junior English III(文英堂) 中学

★舞台 全国の学校を好評巡演中
劇団銅鑼「ハンナのかばん」(文化庁の次代を担う子どもの文化芸術体験事業になりました)

★ドキュメンタリーDVD(50分)

2004年、カナダ CBC 制作。英語の授業で、教科書の理解を深めるために使っていただいています。(日本語・英語)

★ブレイディ家のホームページ

写真がいっぱい！ハンナ兄ジョージさんにメッセージを送ることもできます。

→ www.hanassuitcase.ca (英語)

★映画 "Inside Hana's Suitcase"

チコ、ポーランド、日本、カナダで撮影された芸術性の高い作品です。世界 75 の映画祭で上映され、観客賞を受賞！ → www.cbc.ca/documentaries/doczone/hanassuitcase/

生きのびた兄ジョージの物語を教材に

「生きる」
をテーマに

道徳の授業 銀座中学校の実践より

昨年、中央区立銀座中学校では、当センターの教材「ハンナのかばん」とその続編「生きのびた少年ジョージの物語」を使って、「生きる」を主題にした道徳の授業を実施しました。先生方の実践をご紹介します。



1 時限目 自由が奪われるってどういうこと？

「ユダヤ人に対する禁止条例(ニルンベルク法)」「ハンナのかばん」スタディガイド P25)に目を通しながら、差別、迫害の概略を学び、自由や権利が奪われることの意味を学習。

2 時限目 自分だったら、どうする？

ユダヤ人を助けた人たちにふれながら、自分が似たような状況に置かれたらどうするかという話し合いを行いました。

3 時限目 ホロコースト教育資料センター訪問授業

「ハンナのかばん」の物語を、2年生たちに聞いてもらいました。この日は学校公開で、保護者の方々も参加。2年生は、13歳で短い生涯を閉じたハンナとちょうど同じ年頃です。うなずきながら聞いてくれた子が多かったのが印象的でした。講演終了後、最初に手が上がった生徒から、「ハンナの両親は亡くなったとき何歳？」という質問がありました。父親は44才、母親は35才でした。自分の両親と重なったのでしょうか。「ジョージさんは、ハンナが殺された後、再会できましたか？」という質問も。東日本大震災から半年が過ぎても続いていた遺体の搜索と重なったようでした。「ダビデの星をつけなかったらどうなった？」「ナチスは最後どうなった？」など、子どもたちの発問から、歴史を掘り下げることができました。

4 時限目 心に残ったことをふりかえり、共有する

講演会の後は、教室に戻って担任の先生とふりかえり授業をしました。ハンナのかばんは、「ハンナが生きた証」「一つのかばんが国境を越えてホロコーストを考えるきっかけをつくれた」と、生徒たちから出た言葉を丁寧に先生が板書しながら、失われた一つの命への思いをめぐらせました。

5 時限目 ●ハンナを亡くした兄ジョージの気持ちに寄り添う ●自分が大切にしたいことって何？

最後は、ハンナの兄の体験をあらわした展示パネル「生きのびた少年ジョージの物語」を見ながら、考えをまとめる学習です。生徒たちは右のようなワークシートを片手に見学。このパネルは、収容所でジョージが、恐怖や不安を抱えながらも、仲間と助け合い、学びあい、精一杯生きていた姿を紹介しています。少年たちは密かに雑誌も発行していました。約2年間、800ページにもおよぶこの雑誌は、戦後に出版されました。(7)

クラスで授業と話し合い



ホロコースト教育資料センターの

訪問授業 + パネル展示

コラボで実施



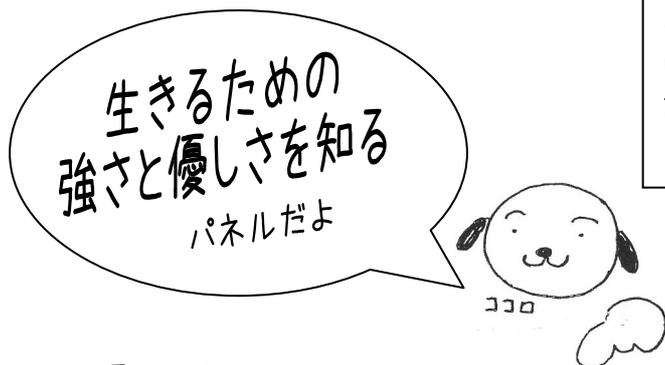
道徳 ワークシート 5時限目

～パネルを見ながら答えよう～

1. パネルのタイトルを見て自分が特に見てみようと思う内容を、2つ以上選びましょう。
2. 選んだ内容を中心に、メモをとりながら、パネルをじっくり見ましょう。
3. この学習を通して、どんなことを思いましたか。自分が大切にしたいこと、自分ができると、考えをまとめましょう。

少年たちが書き残した言葉は、多くの生徒たちの心に残ったようです。また、16歳のジョージがアウシュビッツでどんな体験をしたのか、生きのびた後も妹ハンナを失った悲しみがどんなに大きかったか、その気持ちに寄り添い、想像してくれたようです。

もっと生きたかった13歳のハンナと、懸命に生きのびた16歳の兄ジョージと二人の兄妹の姿を通して、差別の悲しみだけでなく、生きるための優しさと強さ、勇気についても考えを深めてくれた様子を感じられました。



展示パネルを見た感想より



「生き残った人たちも苦しんでるんだなと思いました。」

「思っていた以上の事があったので驚きました。・・・二度と起こさないようにしていくのが、私達に出来ることなんだと思いました。自分のやった事は自分の責任です。自分の責任を人におしつけてはいけないと改めて思いました。」

「文化的な生活を奪われても、また新しい文化をつくりだそう、人生の喜びからひき離されてもぼくたちはもっと新しく楽しいもっと輝かしい人生をきづいていこう、という言葉に、こんなにひどい事をされても、前向きに生きていく感じが伝わってきて、とても感動しました。」

A1サイズ(85×60cm)が19枚のセット
(貸出料金 4,000円+送料)

貸出パネル「生きのびた少年ジョージの物語」より

ハンナの兄、16歳の少年ジョージが二つの強制収容所を生き延びた体験をまとめています。

ぼくの妹 パネル2-4より



2-4

ジョージとハンナ



妹のハンナは3才年下だけと背が高く、ちょっぴり気が強いところもあったよ。

学校では、友達みんなキリスト教徒だ。ぼくたち兄妹だけ、ユダヤ教徒。と言っても、ぼくの家では、父さんも母さんも熱心なユダヤ教の信者じゃなかった。



ジョージ(前列の中央)とクラスの友だち

1号室のなかまたちと出会う パネル6-4より



さんだん たな 三段的の棚一つひとつがぼくたちの生活の場所。ぼしよ 不潔で、ナンキン虫やしらみがいっぱい。

小6-4



ドレスデン収容所の中の部屋の様子(再現されたもの)



1号室で最初に友達になった

カズオとオズ。ぼくたちの仲さんはドイツの戦時中に救われた。



ジョージとオズ(写真左)の仲になったカズオ
カズオ、オズ(写真右)の兄弟

NPO法人 私も、とほりの人も、大事な人だから。
ホロコースト教育資料センターは

未来を担う子どもたちに、ホロコーストの学びを通して世界と歴史への広い視野、いのちを大切にする心を育ててほしいと願い、1998年に設立。2003年にNPO法人とりました。

全国の学校への訪問授業や、展示パネルなどの教材の貸し出しを行っています。皆さんの学校や地域で、ぜひお役立てください。



学校への訪問授業



展示パネルの貸出

～いろいろな形で情報発信しています～



- ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/holocaust/tokyo/>
- ブログ <http://d.hatena.ne.jp/holocaustcenter2>
- フェイスブック <http://www.facebook.com/npo.therc>
- ツイッター http://twitter.com/npo_therc



皆さまのご支援をどうぞよろしくお願ひします



会員の皆さまには年2回、ニュースレターをお届けします。

応援したい！	ボランティア	事務局ボランティア(貸出教材のメンテナンス、広報資料発送)や、イベントボランティア(ワークショップアシスタント、受付、設営)を募集中です。
	寄附	いつでも、どなたでも、おいくらからでも！
	口コミ！	お近くの方にぜひご紹介ください！ 「命と人権教育のNPOだよ」って紹介してくれたらウレシイ！
会員になりたい！	正会員	当センターの目的に賛同し、運営にも参加して下さる方。総会(年1回)で議決権を有します。 【個人】年間5,000円 【団体】年間10,000円
	賛助会員	当センターの目的に賛同し、財政支援をして下さる方。総会での議決権は有しません。 【個人】年間一口3,000円から 【団体】年間一口6,000円から(何口でも)
	利用会員	当センターの提供するサービスを利用される方(図書の出借、パネル・ビデオの割引貸出など)。 【個人】半年2,500円、一年4,000円 【団体】半年5,500円、一年10,000円



*新しく会員になってくださった方、登録を更新してくださった方、寄附をしてくださった方(敬称略、五十音順)

- ▶正会員 上田絳代、古場智子、田中亮彦、細川みゆき、中村明德、沼田誓子、山根利通 <2011年6月~12月>
- ▶賛助会員 我妻卓、伊藤嘉男、大出雅江、大門理恵、大住恭子、源馬恵子、杉田恵子、須田和利、瀬川一美、田嶋淳子、伊達美智子、田中明夫、長谷川典正、久川要、藤澤文洋、牧嶋秀雄、村山博子、山田昭一、渡部恒久
- ▶利用会員 いずみ凜
- ▶寄附 市橋久生、劇団銅鑼、杉浦亮、鈴木道法・始・遥・歩、田中亮彦、田中明夫、林四寿男、福原孝明、渡辺雅仁

会費、寄附のお振込は以下の口座までお願いいたします。

■郵便局の場合は→振込用紙の通信欄に、会費・寄附の種別をお書き添えください。

■銀行の場合は→FAXまたはEメールにて、お名前、ご住所、会費・寄附の種別をお送りください。

郵便振替口座 00180-4-277325
加入者名 ホロコースト教育資料センター

三菱東京UFJ銀行 表参道支店 普通口座 1850011
特定非営利活動法人ホロコースト教育資料センター

* 正会員の場合は、所定の申込書をご請求下さい。ホームページからもお申し込みいただけます。